

2. 火山の概況

(平成 16 年 2 月 5 日 ~ 平成 16 年 2 月 11 日)

吾妻山では地震がやや多い状態が続いた。

浅間山では地震がやや多い状態が続いており、
火山活動度レベルは 2)。

三宅島では噴煙活動が継続し、多量の火山ガスの放出が続いた。

八丈島では低周波地震が発生した。

阿蘇山では 1 月 14 日に規模の大きい土砂噴出が発生し、レベルが 2 から 3 に上昇している。浅部の熱的な活動が活発である。

口永良部島では微動がやや多く発生した。

諏訪之瀬島では噴火があった。

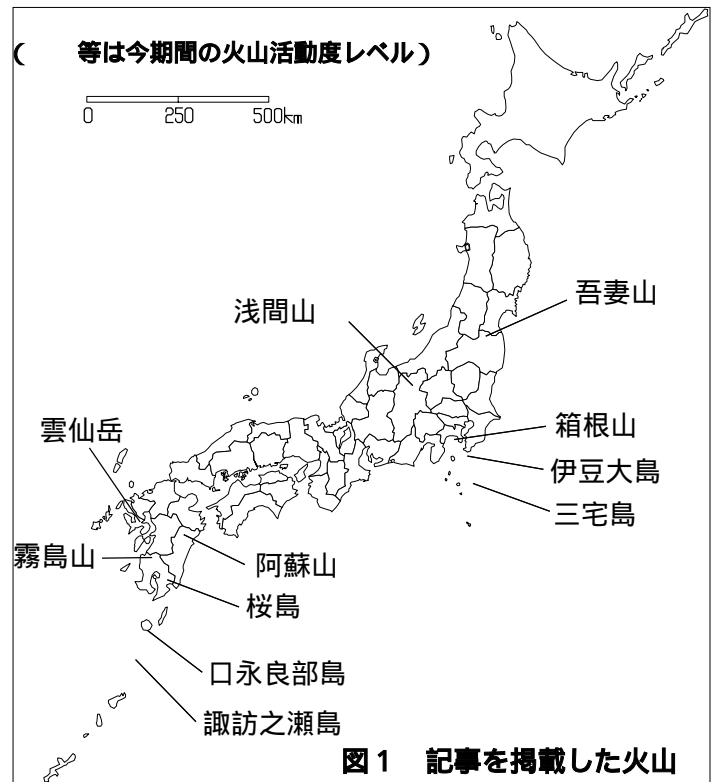


図 1 記事を掲載した火山

表 1 最近 1 か月に記事を記載した火山

号	対象期間	浅間山	伊豆大島	阿蘇山	雲仙岳	桜島	吾妻山	箱根山	三宅島	八丈島	福徳岡ノ場	霧島山	口永良部島	諏訪之瀬島
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル
7	2/ 5- 2/11													
6	1/29- 2/ 4													
5	1/22- 1/28													
4	1/15- 1/21													
3	1/ 8- 1/14													

注 1 記号の意味

- : 噴火した火山
- : 観測データ等に变化があった火山
- : 前期間まで や で掲載した火山の、その後の状況等
- : その他記事を掲載した火山
- 等の丸付き数字**: 火山活動度レベル

注 2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、变化があった観測データ項目を示す。

吾妻山 [地震]

いっさいきょうざん おおあな

一切経山（大穴火口付近）の地下、深さ数 km を震源とする微小な地震は、昨年 12 月以降増加傾向にあったが、1 月中旬以降さらに多くなった。1 月 24 日以降は減少傾向がみられるものの、依然やや多い状態が続いている（以上図 2）。

なお、この地震活動に関係して、噴気活動や地殻変動には特に変化はない。

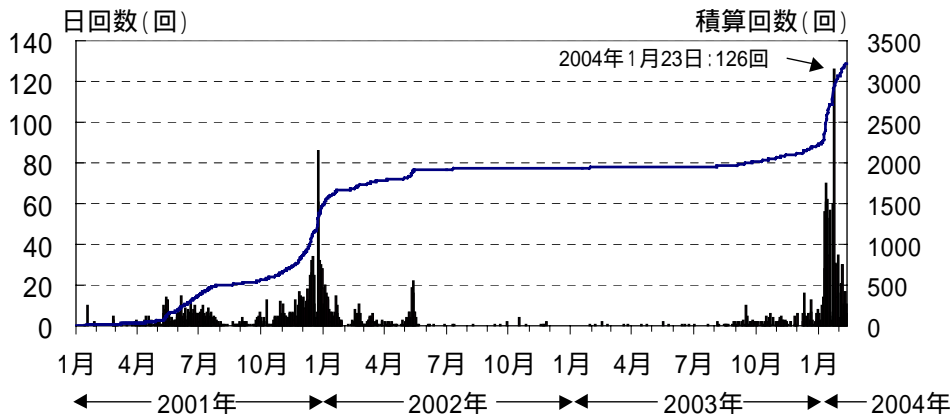


図 2 吾妻山 地震の日回数（折れ線は積算回数）（2001 年 1 月 1 日 ~ 2004 年 2 月 11 日）

浅間山 [地震・微動・噴煙] レベル2 (やや活発な火山活動)

昨年6月末頃からやや多く観測されるようになった振幅の小さい地震は、今期間も1日あたり52~75回とやや多く観測された。

振幅の小さい微動は、7日、8日に各1回、合計2回観測された(前期間は1回)。

噴煙活動は、白色の噴煙が最高で火口縁上400mまで上がった。

箱根山

大涌谷周辺を震源とする地震が、前期間の4日14時過ぎから22時頃まで多発したが、活動は一時的で、その後は収まっている。

伊豆大島 レベル1 (静穏な火山活動)

地震活動は静穏で、噴煙は確認されなかった。また、地殻変動等、その他の観測データにも異常な変化はなかった。

三宅島 [噴煙・火山ガス・地震]

噴煙活動は引き続き活発で、白色の噴煙が山頂火口から連続的に噴出した。期間中の噴煙の高さの最高は火口縁上400mであった。

二酸化硫黄の放出量は、2月9日に行った観測¹⁾では日量3,400~7,800トンと、長期的には低下傾向がみられるものの依然多い状態であった(図3)。

振幅の小さいやや低周波の地震の回数は、1日あたり11~26回と次第に減ってきている。

GPSによる地殻変動観測では、昨年6月頃から再び三宅島の収縮傾向を示している。

1) 警視庁の協力による

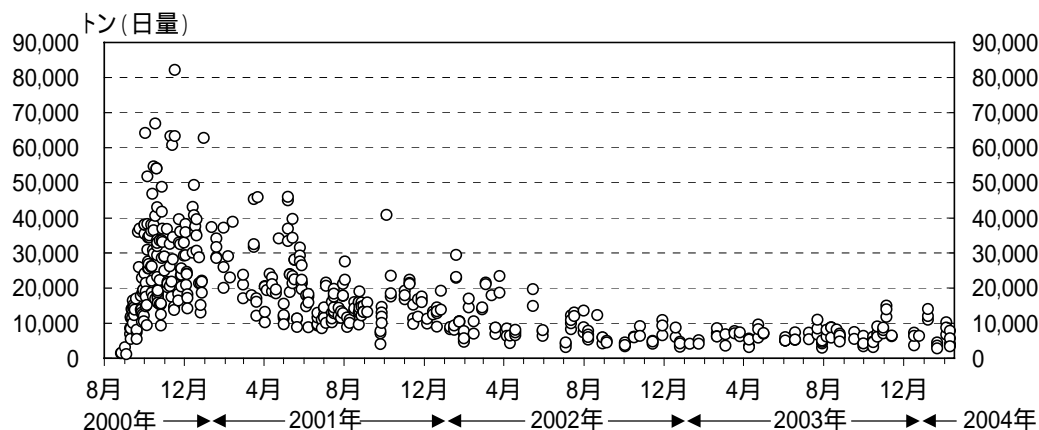


図3 三宅島 二酸化硫黄放出量の推移 (2000年8月26日 ~ 2004年2月9日)

八丈島 [地震]

10日14時台に八丈島付近を震源とする振幅の小さい低周波地震が5回観測された。活動は一時的で、その後は収まっている。八丈島周辺で低周波地震が観測されたのは昨年12月11日以来である。

阿蘇山 [熱・微動・地震] レベル3 (小規模噴火の可能性)

中岳第一火口の浅部の熱的な活動が活発で、孤立型微動が多い状態で推移した。

中岳第一火口の状況は、9日、10日に実施した観測によると、湯だまり中央部と南西側の2か所で

は高さ約 5 m の土砂噴出が発生しており、噴湯現象も観測された。湯だまりの色は灰色で、湯量は約 4 割であった。湯だまりの表面温度は 73 、南側の火口壁の温度は 326 と引き続き高温であった。

孤立型微動は 1,507 回（前期間は 1,629 回）と依然多い状態で、B 型地震も 61 回（前期間 15 回）とやや増加するなど、浅部の火山活動がやや活発であった。

それ以外は、A 型地震の発生は少なく、噴煙活動や GPS 等による地殻変動の観測データには特に異常な変化はなかった。

雲仙岳 レベル 1（静穏な火山活動）

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも異常な変化はなかった。

霧島山

御鉢の火山活動は、監視カメラでは噴気は確認されず、地震もなく、静穏に経過した。

桜島 レベル 2（比較的静穏な噴火活動）

期間中、噴火はなかった（最後に噴火したのは 1 月 12 日）。噴煙の高さの最高は火口縁上 500m（乳白色）であった。鹿児島地方气象台（南岳の西南西約 11km）では降灰はなかった。降灰は今年に入ってから観測されていない。

口永良部島 [地震・微動]

昨年 2 月頃から微小な地震がやや多い状態で推移してきたところ、前期間の 2 月 2 日 19 時頃から多発し、その後も多い状態が続き、前期間の地震回数は計 141 回となった。今期間は、多発する以前の発生頻度まで戻っており、期間中の地震回数は計 22 回であった。

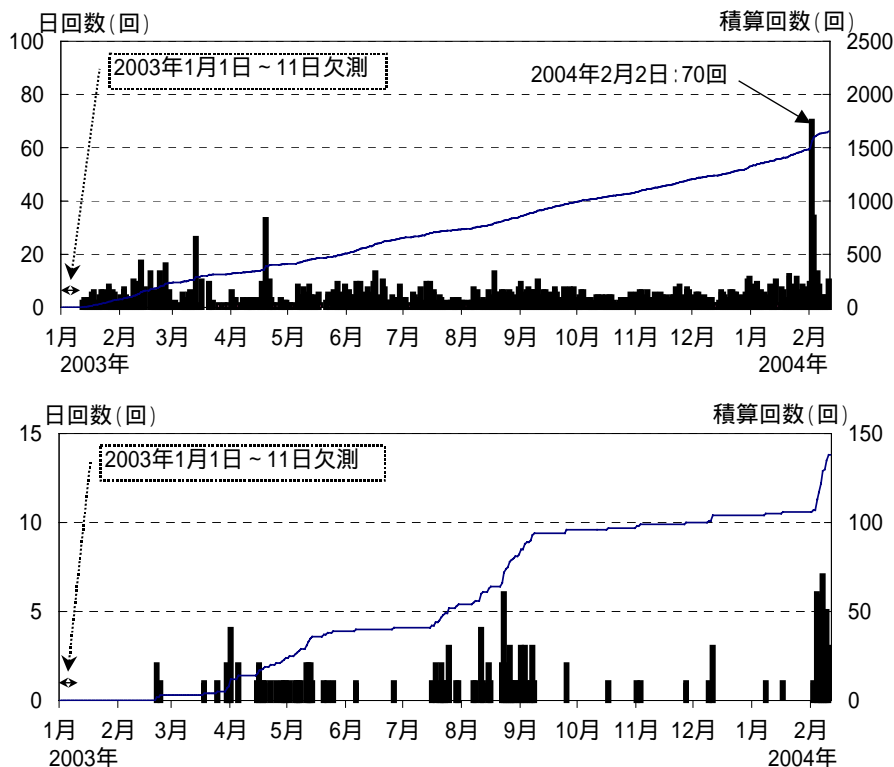


図 4 口永良部島 地震及び微動の日回数（折れ線は積算回数）
（1999 年 9 月 11 日～2004 年 2 月 11 日）

微動はやや多い状態で、今期間は25回（前期間は7回）であった（以上図4）。

上屋久町役場口永良部島出張所によると、これらの地震や微動の活動に関して、新岳や古岳の噴気活動などに異常な変化は見られていない。

諏訪之瀬島 [噴煙]

期間中、爆発はなかったが（前期間は爆発2回）、十島村役場諏訪之瀬島出張所によると5日～8日にかけて山頂火口から火山灰を含む噴煙を上げていた。

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
箱根山	火山観測情報第2号	5日 11:00	大涌谷付近の地震は収まった。
三宅島	火山観測情報第68号 (1日2回発表)	5日 09:30	活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）。
	火山観測情報第81号	11日 16:30	
阿蘇山	火山観測情報第12号	6日 11:10	火山活動が引き続き活発（孤立型微動が多い状態。現地観測による火口内の状況等）。レベルは3。
	火山観測情報第13号	9日 11:30	
霧島山	火山観測情報第11号	6日 15:00	御鉢の火山活動は消長を繰り返しながら収まってきている（噴気活動低下、地震回数が減少）。
口永良部島	火山観測情報第5号	5日 15:00	地震は減少、微動が引き続き発生。
	火山観測情報第6号	6日 15:00	
	火山観測情報第7号	9日 15:00	